

INFORMATION

No. 29024

平成30年2月26日

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。敬白

記

■ 変更項目

検査項目	抗ミュラー管ホルモン (AMH)	HBVゲノタイプ
	リチウム	IgA-HEV抗体 (定性)
	テストステロン	免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕
	β -リポ蛋白	Cu (銅)
	HCG- β サブユニット	ROS1融合遺伝子定性
	major BCR-ABLキメラmRNA定量	EML4-ALK融合遺伝子定性

■ 実施日 2018年3月31日 (土) ご依頼分より
*項目名称の変更は4月2日 (月) 報告分より



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

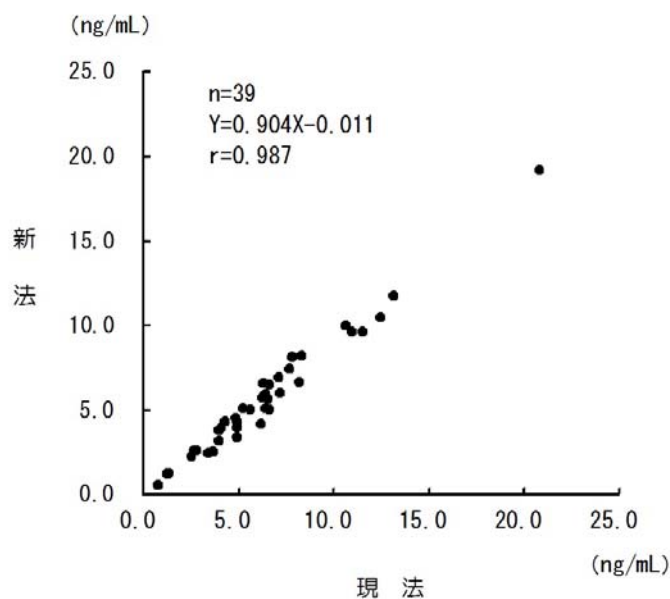
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

● 抗ミュラー管ホルモン (AMH)

体外診断薬の承認を受けた試薬へ変更いたします。新基準値はメーカー設定値です。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2649	抗ミュラー管 ホルモン (AMH)	検査方法	ECLIA	CLEIA
		基準値 (単位)	女性 20~24 歳 : 2.00~12.5 25~29 歳 : 1.95~10.7 30~32 歳 : 0.64~14.2 33~35 歳 : 0.89~8.31 36~38 歳 : 0.40~6.92 39~41 歳 : 0.11~7.26 42~44 歳 : 0.07~4.13 45~49 歳 : 1.52 以下 男性 : 0.77~14.5 (ng/mL)	なし (ng/mL)
		報告範囲	0.01 未満、 0.01~99900000	0.02 未満、 0.02~99900000

▼現法と新法の比較



●検査方法参考文献 浅田 義正, 他: 医学と薬学 72 (1) : 109~118, 2015.

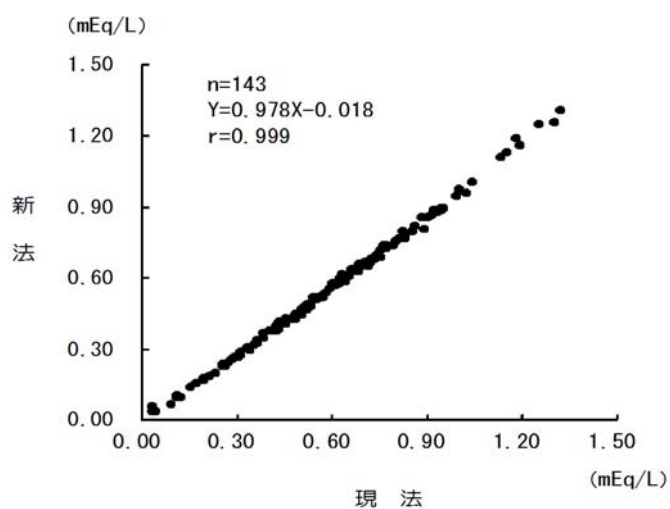
● リチウム

本検査におきまして、自動化試薬に変更させていただきます。

新基準値は炭酸リチウム製剤のインタビューフォーム記載内容の「治療上有効な血中濃度」させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
3572	リチウム	検査方法	比色法	原子吸光分析法
		基準値(単位) (治療濃度範囲)	0.3~1.2 (mEq/L)	0.60~1.20 (mEq/L)

▼現法と新法の比較



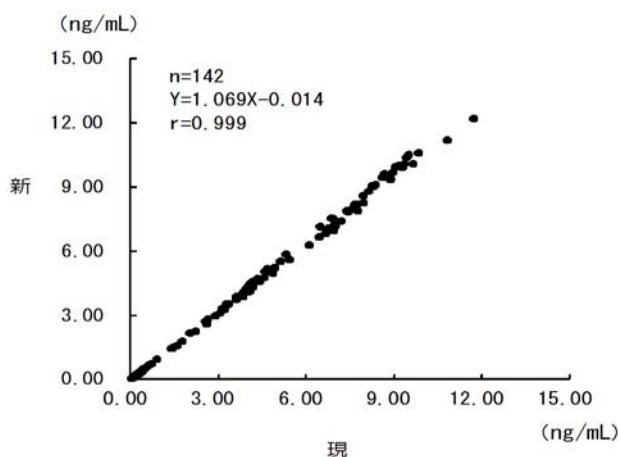
●検査方法参考文献 細羽 恵美子, 他: 臨床化学 46(1):39~46, 2017.

● テストステロン

測定装置を同一メーカーの新機種へ変更に伴い、報告範囲を変更いたします。基準値に変更はありません。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2500	テストステロン	報告範囲	0.03未満、 0.03~99900000	0.03以下、 0.04~99900000

▼現法と新法の比較



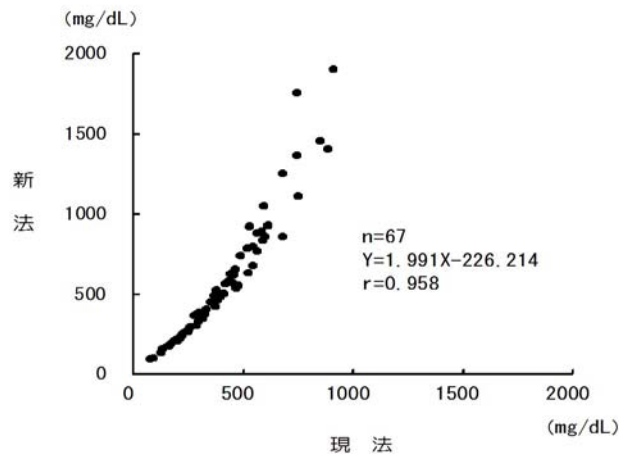
●検査方法参考文献 古屋 実, 他: 医学と薬学 74(7):819~830, 2017

● β-リポ蛋白

現試薬の販売中止に伴い、代替試薬へ変更いたします。新基準値はメーカー設定値です。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2708	β-リポ蛋白	基準値 (単位)	220~650 (mg/dL)	190~500 (mg/dL)
		報告範囲	10 未満、10~99999999	0~99999999

▼現法と新法の比較



● HCG-β サブユニット

項目名称に測定対象を追記させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
2530	HCG-β サブユニット	血清	遊離 HCG-β (HCG-β サブユニット)	HCG-β サブユニット
2532		部分尿		

● major BCR-ABL キメラ mRNA 定量

本項目のご報告内容 (BCR-ABL 定量値、BCR-ABL 実測値、内部標準遺伝子の GAPDH 実測値) に合わせた項目構成に改め、下記項目の項目名およびコードを改めさせていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
特殊伝票	major BCR-ABL キメラ mRNA 定量	項目名	Major BCR-ABL1 キメラ mRNA 定量	major BCR-ABL キメラ mRNA 定量

● HBV ゲノタイプ、IgA-HEV 抗体（定性）

所要日数を短縮させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
3990	HBV ゲノタイプ	所要日数	3～7日	3～9日
特殊伝票	IgA-HEV 抗体（定性）	所要日数	3～6日	3～9日

● 免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕

検体量を見直し、再設定させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
3631	免疫電気泳動〔特異抗血清による同定〕	検体量	0.4 mL	0.2 mL

● Cu（銅）

報告下限を見直し、再設定させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
3467	Cu（銅）（尿）	報告範囲	蓄尿： 尿量により変更～999000.0	蓄尿： 0.0～999999.9

● ROS1 融合遺伝子定性、EML4-ALK 融合遺伝子定性

下記の対象項目について、より適切な検体採取方法に改めさせていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
特殊伝票	ROS1 融合遺伝子定性	案内書欄外	採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を <u>指定容器 (ARR) に入れ</u> 、室温にて遠心分離 (760×G [2,000~3,000rpm]×10 分間) し、上清を出来るだけ取り除いた沈渣を、必ず凍結しご提出ください。	採取した胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を室温にて遠心分離 (760G [2,000~3,000rpm]×10 分間) し、上清を出来るだけ取り除いた沈渣を <u>指定の容器 (ARR) に移し</u> 、必ず凍結しご提出ください。
	EML4-ALK 融合遺伝子定性	案内書欄外	EML4-ALK 融合遺伝子定性の組織以外の <u>材料の場合</u> 検査には 1×10^7 個程度の細胞が必要です。採取した 20mL 以上の胸水、肺胞洗浄液、気管支擦過洗浄液を <u>指定容器 (ARR) に入れ</u> 、1,500~3,000G (※) で 5 分間 2℃~4℃にて遠心分離し、 <u>上清をできるだけ取り除いた沈渣を</u> 、必ず凍結してご提出ください。ご提出された検体の細胞数が 1×10^7 個より少ない場合には、検査不可能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ※遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r: 遠心機の半径 (cm) n: 1 分間あたりの回転数 (rpm)	EML4-ALK 融合遺伝子定性の組織以外の <u>材料について</u> 検査には 1×10^7 個程度の細胞が必要です。採取した 20mL 以上の胸水・肺胞洗浄液・気管支擦過洗浄液を 1,500~3,000G (※) で、5 分間 2~4℃にて遠心分離した <u>沈渣物を指定の容器 (ARR) に移し</u> 、必ず凍結してご提出ください。ご提出された検体の細胞数が 1×10^7 個より少ない場合は、検査不可能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 ※遠心機回転数の計算式 $G = 1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$ r: 遠心機の半径 (cm) n: 1 分間あたりの回転数 (rpm)